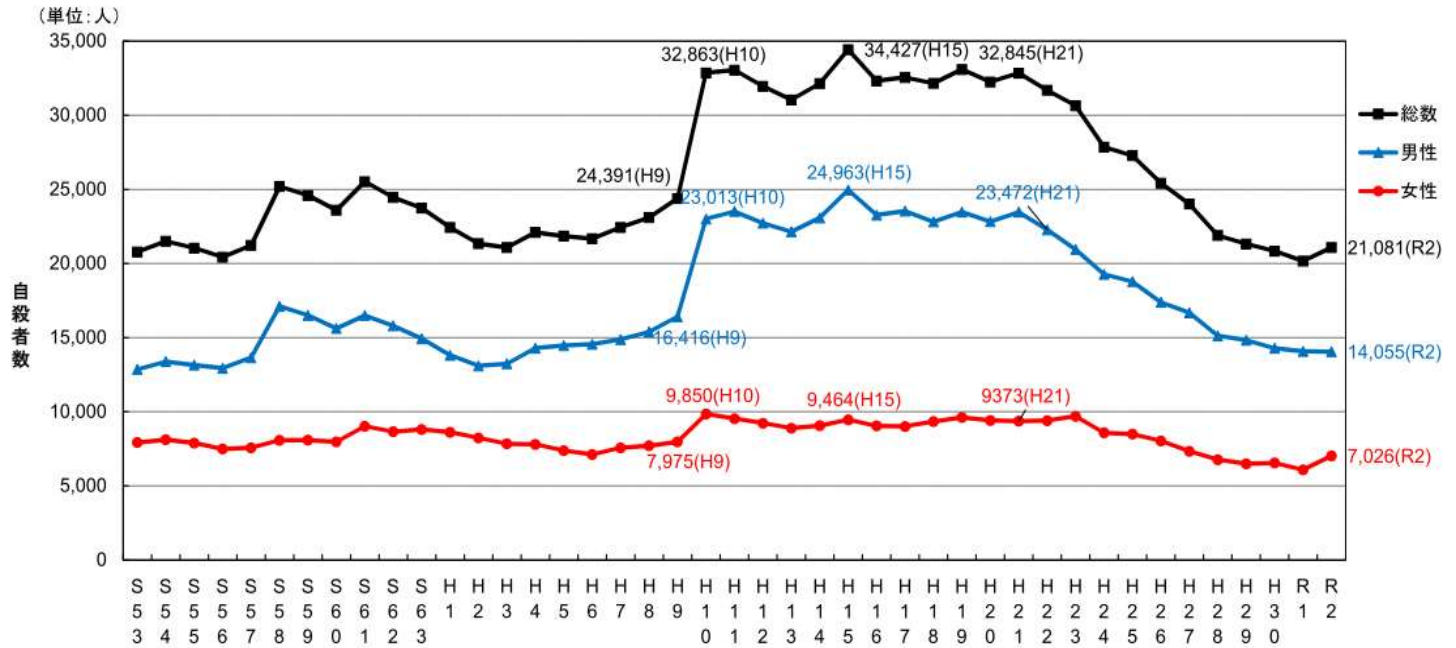


自殺者の状況について

【令和3年12月作成】

1 全国の自殺に関する状況

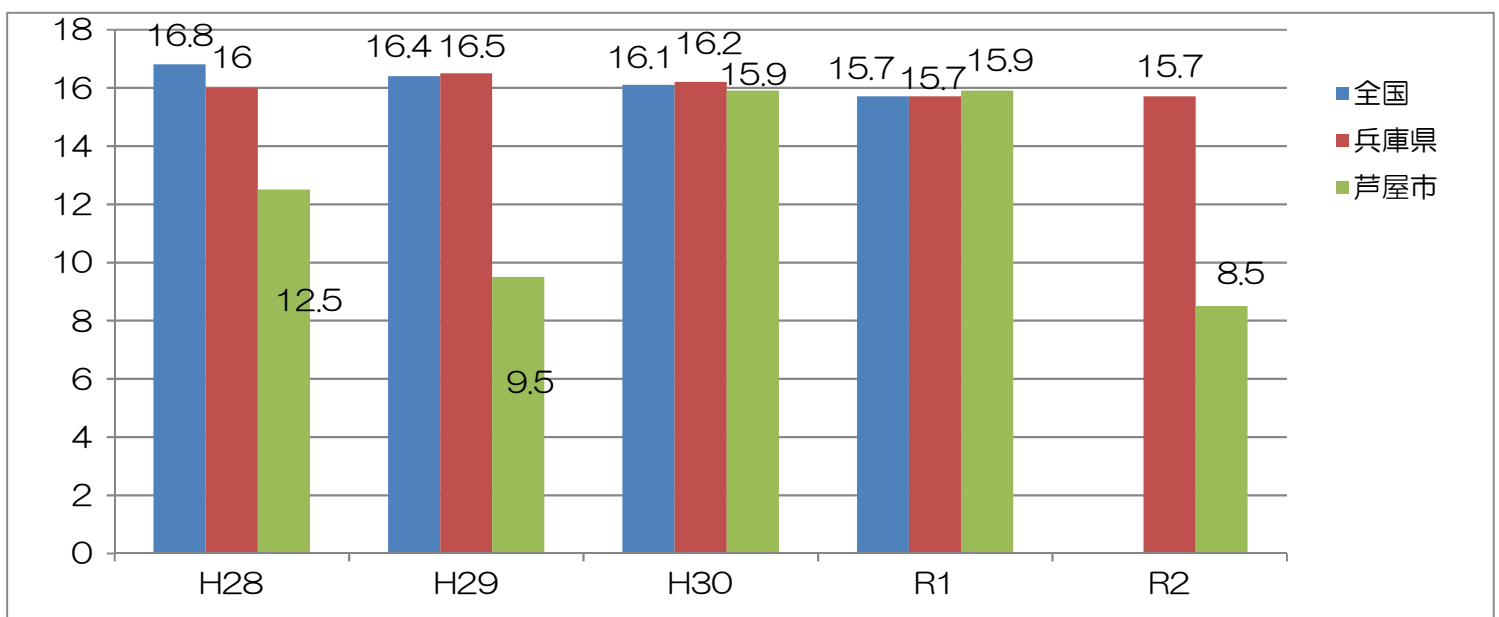


警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

○令和2年の自殺者数は、21,081人となり、対前年比912人(約4.5%)増。

○男女別にみると、男性は11年連続の減少、女性は2年ぶりの増加となっている。また、男性の自殺者は、女性の約2.0倍となっている。

2 全国、兵庫県との自殺率の比較



人口動態統計による自殺率を参考に作成

3 芦屋市の自殺に関する状況(地域自殺実態プロフィールより引用)

① 自殺者数の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	合計	平均
人口動態統計 自殺者数	12	9	15	15	8	59	11.8

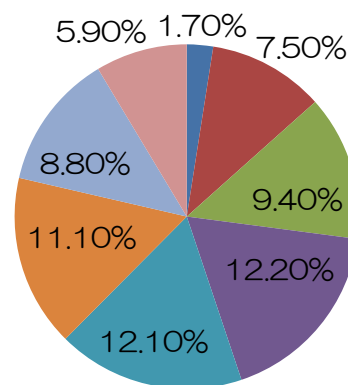
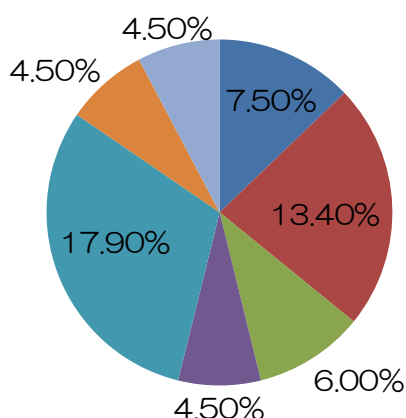
地域自殺実態プロフィールより

② 自殺者の性別, 年齢別割合(平成26年～平成30年合計) ※令和4年に更新予定

男性

芦屋市

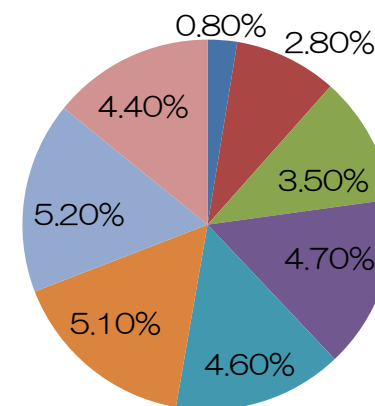
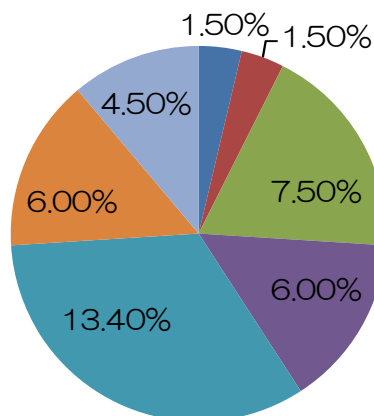
全国



女性

芦屋市

全国



③ 地域の主な自殺の特徴(平成27年～令和元年合計) ※令和4年に更新予定

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:女性 60歳以上無職同居	13	19.4%	23.3	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
2位:男性 60歳以上有職同居	8	11.9%	32.9	①【労働者】身体疾患+介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺/②【自営業者】事業不振→借金+介護疲れ→うつ状態→自殺
3位:男性 20～39歳無職同居	6	9.0%	72.7	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の不和→孤立→自殺/②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
4位:女性 40～59歳無職同居	6	9.0%	14.2	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
5位:男性 60歳以上無職同居	5	7.5%	14.9	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺

順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順

*自殺死亡率の母数(人口)は平成27年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計

**「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書2013(ライフリンク)を参考